



体験すること

副校長 金子 京子

この夏、副校長研修のひとつとして、「企業研修」がありました。私の派遣先は、ドラッグストアの店舗を展開している企業でした。朝会に参加したり、会議にも出席させていただいて様子を見学したりしました。社長や管理職の方とも話をさせていただきました。4日間の研修期間ではありましたが、この研修で、教育現場とは違う民間企業の現場に接することにより、大いに刺激を受けてまいりました。研修の中には店舗実習もあり、「体験すること」の意義について改めて考える機会を得ました。「体験すること」は、体験内容が自分に引き寄せられその距離が縮んでいき、一層自分にとって身近なものへと変わっていくものと考えます。

三保小学校の体験を取り入れた学習は数多くありますが、今年度すでに行われた中の取組について、次の三つの内容をあげてみたいと思います。

まず、3年生の「豆腐出前授業」です。これは、今年度が初めての取組です。豆腐は、食材としてよく食べられているものですが、豆腐屋さんに教えていただきながら、実際に自分たちの手で豆腐をつくる、という体験を行いました。これまでの、豆腐を「食べる」ことだけではなく、「つくる」ことの体験により、豆腐が子どもたちにとり身近な存在になったことと思います。3年生は、同時に豆腐の原料である大豆の栽培にも取り組んでいます。また、これからの、国語「すがたをかえる大豆」の学習では、子どもたちの最大限の興味・関心を引き出すことができるのではないのでしょうか。教科、領域を超えて、この体験がさらに生かされていきます。

二つ目は、4～6年生対象の「和楽器に親しむ」をテーマにした芸術鑑賞会です。この鑑賞会も体験を取り入れた点に関しては、今年度が初めての取組になりました。日本古来の民話である羽衣伝説を題材とした音楽劇で、歌で共演することを通して、音楽物語へ自らが入り込む達成感や一体感を味わうことをねらいとしています。6年生は、事前にワークショップを行い、箏と尺八の体験を行いました。特に6年生は、事前に演奏体験をした和楽器の音色に心惹かれながら鑑賞できたことと思います。音楽の学習内容にも和楽器を扱った単元があるので、その学習時にもこの体験が生かされると思います。

最後は、「梅田川水辺の楽校協議会『こども川の日』」の取組です。三保、新治の貴重な自然にふれながら、梅田川の生き物を調査したり、いかだ遊びやささふねづくりなどの昔の川遊びを体験したりしました。この取組の参加団体には、自治会をはじめ、小中学校、各学校PTAの学校関係、地域の各団体、緑区区政や緑消防署等の行政といった、いろいろな方面の関係機関が連携して行われています。このような取組は、全国でもあまりない例と聞いております。当日は、大勢の子どもたちの参加がありました。地域の自然、特に梅田川を身近に感じることができる体験になりました。

これらの体験が、学習内容を身近に引き寄せ、主体的に学習にかかわろうとする意欲につながっていくものと考えます。そして、そこから疑問をもったり、より深い学びになったり、新しい学習へと発展したりすることを期待しています。そして、私たち教師が「体験すること」のみに終わらせない学習内容の工夫が欠かせないものとなります。その点は、私たちも努力してまいりたいと思います。本校で、このように貴重な体験を組み入れた学習に取り組むことができるのは、保護者の皆様や地域の方々の多大なるご協力、ご支援をいただいているからこそです。心より感謝いたします。



夢みどりリーダー会議・横浜子ども会議

7月5日(水)に十日市場中学校、8月30日(水)には緑区役所で、夢みどりリーダー会議、横浜子ども会議が行われました。三保小学校からは計画委員の6年生の石井さん、5年生の木村さんが出席しました。

今年度は、2つの会議の結びつきをより明確にするために、共通テーマが設けられました。共通テーマは、「ひとをおもい、まちとつながり、住みよい社会をつくろう」。学校という子どもたちにとっての「社会」、地域というまちの人たちとのつながりをもった「社会」を住みよいものにするために、具体的に何をしていたらよいかを考えました。

「人権やいじめをもっと身近に感じるような取り組みをしていくことが必要」、「人との関わりを大切に、コミュニケーションがとれるような取り組みをしていきたい」など、様々な思いをもつことができました。各ブロックで話し合ったことを発表するのを、みんな一生懸命メモをとりながら聞いていました。

PICK
UP!

梅田川水辺の楽校「こども川の日」が開催されました!

夏休み前の7月17日(月)、一本橋メダカひろばで「梅田川こども川の日 水辺の楽校」が開催されました。

生き物観察をしながら自然について学習するこのイベント、今年も多くの子供たちが参加しました。

生き物調査体験のほか、いかだ体験、ささふねづくり体験など、子どもたちは様々な体験を楽しみ、会場は大いににぎわいました。

生き物調査に参加していた女の子は、「エビがいっぱい!」と大喜び。ホトケドジョウやアブラハヤ、オイカワなどをつかまえていた子もいました。

今年本校に赴任して初めて参加した職員も、「とてもたくさんの生き物がとれること、そして何より子どもたちが楽しんで参加していることが素晴らしい!」と感心していました。

生き物学習広場では、本校校長の和泉先生から、たくさんのお話を聞くことができました。



つかまえられた?



ささふねづくり体験



ほら、いるよ!



こんなのとれた!!



よく狙って…竹鉄砲体験



仕分けられた生き物を観察



みんな真剣! 生き物観察会

特集 水しげきあげ、力泳!

緑区小学校水泳大会 横浜市立小学校水泳大会

7月31日(月)に、十日市場小学校で、第48回緑区小学校水泳大会(第2会場)が行われました。三保小学校からは4~6年生の45名が出場し、今まで練習してきた成果を発揮し、自己ベストを目指して、みんな全力で泳ぎました。

また、区の大会の記録をもとに、緑区の代表に選ばれた、小野さん、岩崎さん、榎本さん、三浦(小)さん、三浦(花)さん、長島さん(以上6年)、松崎さん、鮎澤さん(以上5年)は、8月24日(木)、横浜国際プールで行われた第51回横浜市立小学校水泳大会にも出場しました。

当日は、アトランタ、シドニー、アテネ、北京とパラリンピックに4大会連続で出場し、合計15の金メダルを獲得した成田真由美選手(川崎市出身)が泳ぎを見せてくださり、自分のエピソードを交えて「真剣に打ち込めることを見つけてほしい」と語っていただきました。子どもたちは、腕のかきだけであんなに速いのはすごい、と驚いていました。



リレーをみんなで応援!



出場した選手のみなさん



横浜国際プールにて

学年 ZOOM IN!

5年 夏の田んぼ草取りをがんばりました!



稲の様子を観察します

7月19日、8月2日、17日、25日、に、田んぼの草取り・観察を行いました。夏休み中にもかかわらず、多くの子どもたちが参加しました。子どもたちは、最初はヒエと稲を見分けるのに苦労していましたが、慣れてくるとよくわかってきて、楽しそうに作業していました。

観察していた子どもたちは、隣の田んぼの稲と見比べて、「こっちはもう穂が出てる!」「こっちの方が成長が早いね」などと感想を言い合っていました。

参加してくれたみなさん、お疲れさまでした!



草取りの様子